

ものづくり山形の価値を高める集中支援事業 2020年4月～2021年3月実施予定（公益財団法人山形県企業振興公社）

【課題】

山形県は優れた技術と技能を有する企業が多数存立し、ものづくりが基幹産業である。近年のグローバル競争の激化、第四次産業革命による社会変革など、企業を取り巻く環境は大変厳しく、本県経済を支えるものづくり中小企業・小規模事業者が年々減少し、地域経済に与える影響が大変懸念される。これまでの個々の施策対応ではなく、経営資源が乏しいものづくり中小企業・小規模事業者が持てる強みを生かした成長戦略を策定し、その戦略に沿った徹底したトータル支援を集中的に、関係機関と連携し、迅速に行う必要がある。

【目的】

中小企業・小規模事業者が優れた特徴を活かしながら、競争力を持ち、未来にわたって勝ち残っていく企業として成長していく道筋を支援し、本県の基幹産業であるものづくりの付加価値向上の加速化により、地域の持続的な発展を図る。

【都道府県の施策との連携・親和性】

山形県の次期（令和2～6年度）産業振興ビジョンに「中小企業・小規模事業者の生産性向上と経営基盤の強化」やものづくり産業の競争力強化などの施策が盛り込まれる予定。本事業は、ものづくり中小企業・小規模事業者の生産現場の改善、技術力を活かした自社製品の開発、新たな市場の獲得等につなげていくために、ワンストップで集中支援を実施するものである。県内ものづくりの価値を高め、競争力を強化し、生き残り支援を実践するものであり、次期産業振興ビジョンの考えに即した内容である。

支援体制

戦略支援会議（年4回程度開催）

構成：イノベーション型コンサルタント※ 山形県企業振興公社・山形県（工業技術センター、工業戦略技術振興課、中小企業振興課）・山形県産業技術振興機構

目的：専門的見地からの事業性評価、個別企業の方向性・具体的施策展開の検討等、円滑な事業実施のための進捗管理

個別企業の支援チーム組成

構成：右図の各支援機関のスタッフ

目的：イノベーション型コンサルタント※・外部専門家等を活用し、戦略の策定から、支援計画の立案、戦略実行まで一貫した支援を実施

支援機関の連携

「経営力強化の総合的支援機関」

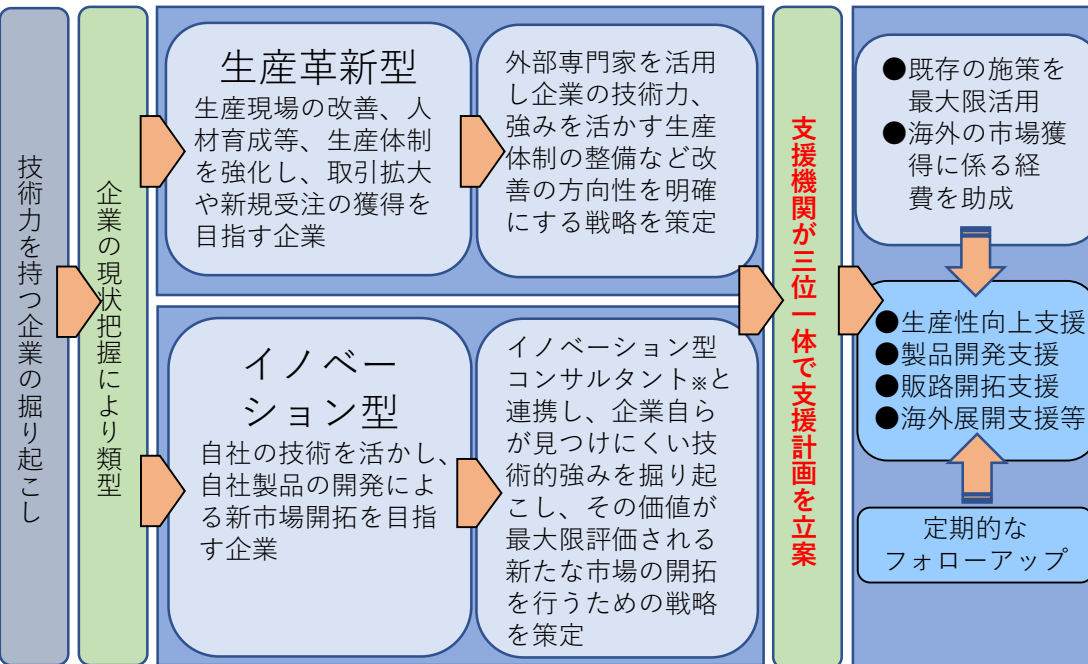


支援企業選定

成長戦略策定支援

戦略実行支援

支援の流れ



※イノベーション型コンサルタントとは、技術力の洗い出しから製品開発、販売支援まで一貫した支援ができ、ものづくりに関する高い知見と支援実績を豊富に持つ専門家が在るコンサルタント会社

【成果目標】

- 直接的成果目標
戦略の策定・実行に取り組む中小企業・小規模事業者を年25社支援し、競争力を持ち、持続的に発展できる企業を創出。
- 間接的成果目標
三位一体の取組みによる密接な協力関係を構築。

【波及効果】

事業成果を広く周知し、県内中小企業・小規模事業者の関心度を高め、各企業の強み・経営資源を活かして競争力を高める取組みへの参画機運を醸成。
三位一体の協力体制の構築による連携プレーの継続と関係機関との連携の広がりによる支援効果の厚みが増す。
支援する企業がきらりと光るものづくり企業として競争力を高め、本県産業の持続的発展の原動力へと成長。
当公社の他機関との連携によるワンストップ支援機能を強化し、当公社における企業支援力を飛躍的に高め、地域活力の向上に寄与。

【将来の支援目標】

将来的には、本事業の財源確保に目途がたてば、4年間の継続事業として取り組むことによって、きらりと光るものづくり企業100社の成長戦略の構築とその実践を行いたい。
これらの優れた競争力のある企業群が本県産業を強力に牽引していく原動力になるようにしっかりと取り組んでいきたい。